

『ブルーフラッグ』の厳しい認証基準は、 ビーチの持続可能な発展の証しです

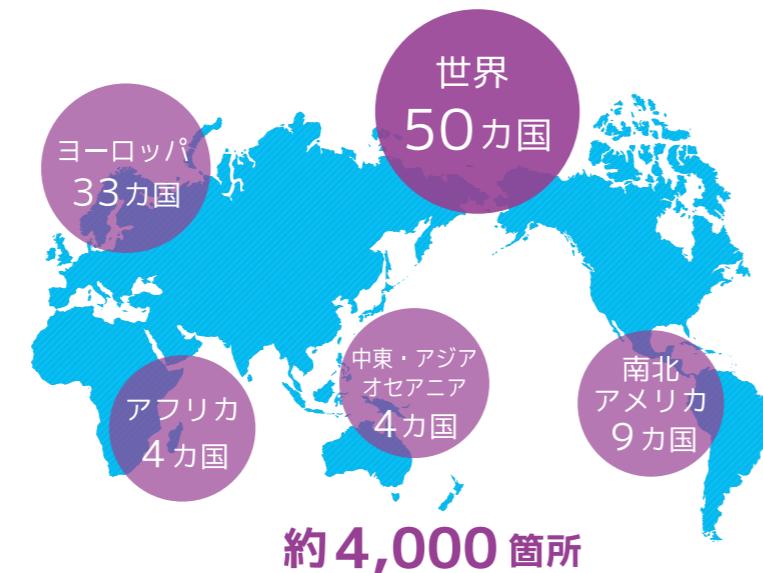
このパンフレットは、環境省平成 26 年度「地域活性化に向けた協働取組の加速化事業」の一環として実施しています

ブルーフラッグとは

ブルーフラッグは、国際NGO/NPOであるFEE(環境教育基金)により運営されるビーチおよびマリーナの国際的な環境認証制度です。「水質」「環境マネジメント」「環境教育と情報」「安全性・サービス」の4点が国際的に優れていると認められると、ビーチなどに期間限定でブルーフラッグ旗を掲げることができます。

1985年にフランスで誕生し、1987年のヨーロッパ環境年を契機にヨーロッパ各地でプログラムが始動、その後世界中に広がり、現在世界50カ国、約4,000箇所で取得されています。

現在FEEではUNEP(国連環境計画)、UNWTO(国連世界観光機関)等との連携のもと、さらなるブルーフラッグプログラムの推進に取り組んでいます。



ブルーフラッグがあるビーチ

ブルーフラッグを取得するためには、地元自治体やビーチの管理・運営者が中心となり、設定された30項目以上の厳しい基準を満たすことが必要となります。

このような認証取得に向けた取り組みを行うことで、地域の関係者が協力する体制が生まれ、経済的側面(観光開発等)と環境的な側面(自然保護)が両立することで、長期にわたる発展につながると期待されます。

福井県高浜町では、地域の誇りである美しい海において、ブルーフラッグの国内初の取得をめざしています。



ブルーフラッグ取得までの流れ

Step1 地元関係団体の調整、体制作り

Step2 国内運営組織(FEE Japan)に申請

Step3 国内審査員による現地審査の実施

Step4 国内審査委員会による審査

Step5 国際審査委員会による審査

Step6 BF認証の取得 1年ごとの更新

FEE Japan 提供 ロゴおよびブルーフラッグビーチの写真

Photo by TANI



【高浜町におけるブルーフラッグの認証取得に関するお問合せ】

(一社)若狭高浜観光協会 TEL/0770-72-0338

高浜町まちづくり課 TEL/0770-72-0775

地域の誇りである美しい海を次の世代に引き継ぐために――



水質 WATER QUALITY

透明度や微生物など、水質はビーチの魅力の中でも特に大切な要素です。ブルーフラッグの認証基準においても水質は重要な条件になっており、ビーチの管理・運営者は、期間中定期的に水質を測定し、美しさを保つことが求められます。若狭高浜の海は、福井県が実施する海水浴場としての水質調査において、毎年「AA」という最高評価を得ています。



環境教育と情報 ENVIRONMENTAL EDUCATION AND INFORMATION



安全性・サービス SAFETY AND SERVICES



ブルーフラッグは、「世界のビーチ共通の安心のしるし」と言われております、既にある法令を守ることはもちろん、さらに高い水準で安心・安全を守ることが求められます。若狭高浜の海では、日本赤十字社の厳しい講習を受けて資格を持った会員が「高浜町水難救助員会」として海水浴期間中毎日パトロールを行っています。また、若狭和田海岸では、日本ライフセービング協会正規の「ライフセーバー」が監視と救護を行っており、国内でも特に手厚い安全管理体制が整っています。

環境マネジメント ENVIRONMENTAL MANAGEMENT

ビーチを美しく保ちながら、海水浴客など様々な利用者が便利で安全に利用できるようにするために、適切なルールのもと、地域全体のバランスを考えた環境管理が必要になります。高浜町では、平成 26 年 4 月に「高浜町の海岸を守り育てる条例」と「若狭高浜海のルールブック」ができました。これらをもとに、海の関係者や住民、行政が協力してビーチを維持管理していくことで、美しい海を地域の財産として次の世代にも引き継いでいきたいと考えます。

